

診療情報を用いた研究実施についてのご案内 (オプトアウト：研究への利用を望まない方へ)

よしき往診クリニック（以下「当院」）では、診療の質向上と終末期医療の改善を目的として、過去の診療記録を用いた研究を実施しております。

この研究では、通常の診療で得られた診療情報を匿名化したうえで用いるため、対象となる患者さんやご家族の方から直接の同意（インフォームド・コンセント）をいただくことを省略しております。その代わりとして、研究の概要を公開し、診療情報が研究に利用されることを望まない方には、申し出により対象から除外する機会（オプトアウト）を設けています。

1. 研究課題名

死亡7日前時点の点滴の実態とその意思決定プロセスに関する単施設後向き研究

2. 研究責任者

研究責任者：藤谷 好紀

所属：よしき往診クリニック

3. 研究の目的

当院で看取りとなった患者さんについて、

- ・死亡7日前時点で点滴（輸液）がどの程度行われていたか
- ・点滴の開始・中止に関する判断が、患者さん・ご家族・医師の間でどのように行われていたか

を後向きに調査・分析することで、終末期医療における意思決定やケアの質の向上に役立てることを目的としています。

4. 研究の対象となる方

以下のすべてを満たす方が対象となります。

- ・2023年4月1日～2025年3月31日の間に、当院で看取りとなった患者様
- ・年齢やご病気の種類による除外基準は設けておりません

すでにご逝去された患者さんの診療情報を用いる研究です。

5. 利用する情報の内容

当院の診療録（カルテ）等に記録されている情報のうち、主に以下の項目を利用します。

- ・年齢、性別
- ・主なご病気（死亡原因となった疾患名など）
- ・入院・通院および看取りに関する情報（訪問診療期間、死亡日 など）
- ・死亡7日前から死亡日までの点滴（輸液）の有無、実施期間、中止の時期
- ・点滴の種類・量など、輸液の内容
- ・点滴の開始・中止を誰が提案・判断したか（医師・患者さん・ご家族 など）
- ・終末期の点滴に関する話し合いの内容（カルテに記載されている範囲）

※氏名、住所、電話番号など、個人が特定される情報は、解析の前に削除またはコード化し、匿名化したうえで利用します。

6. 研究の方法と期間

- ・すでに診療の中で記録された診療録を用いる後向き観察研究ですので、新たな検査や治療、面談等を行うことはなく、患者さんやご家族への負担は発生しません。
- ・研究実施期間：2023年4月1日～2026年3月31日（予定）

7. 個人情報の取り扱い

研究に用いるデータは、患者さん個人が特定されないよう、氏名・住所などの直接的な個人情報を削除またはコード化し、匿名化データとして解析します。匿名化の対応表は、院内の厳重に管理された環境に保管し、研究責任者など必要最小限の者のみがアクセスできます。研究の結果は、学会発表や論文などで公表される可能性があります。その際も個人が特定されることはありません。

8. 研究への協力を望まれない場合（オプトアウト）

本研究の対象となる患者さん（すでにご逝去されています）のご家族などのご関係者で、診療情報がこの研究に利用されることを望まれない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。該当する患者さんのデータは研究対象から除外いたします。

オプトアウトを申し出られても、これにより故人の診療内容や、ご家族が当院で受けられる医療・サービスに不利益が生じることは一切ありません。

※すでに匿名化・集計され、個人を識別できない形となったデータについては、削除に応じられない場合がありますが、その場合も個人が特定されることはありません。

9. お問い合わせ・お申し出先

よしき往診クリニック

研究責任者：藤谷 好紀

電話：075-381-2220（受付時間：平日 9 時～17 時）

メールアドレス：info@yoc.jp

※お電話またはメールで、「終末期点滴の研究のオプトアウトの件で」とお伝えください。

10. 倫理審査について

本研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および医療法人双樹会倫理審査委員会の規定に従い、倫理的な妥当性の審査を受け、承認されたうえで実施されます。

11. その他

このお知らせは、当院ホームページおよび院内掲示にて一定期間公開します。

研究の内容についてご不明な点がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。